2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　　キッセイ薬品工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4547　　URL　https://www.kissei.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役会長　（氏名）　神澤　陸雄
問合せ先責任者　（役職名）取締役財務管理部長　（氏名）　駒村　孝幸　（TEL）0263-25-9081

半期報告書提出予定日　2026年11月９日　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	45,503	△0.7	1,694	―	2,923	―	5,191	△33.3
2026年３月期中間期	45,831	7.9	△6,837	―	△5,622	―	7,784	48.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　675百万円（△93.2%）　2026年３月期中間期　10,001百万円（ 590.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	124.88	―
2026年３月期中間期	186.81	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	266,852	229,564	85.5	5,465.12
2026年３月期	275,086	231,536	83.7	5,552.11

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 228,104百万円　2026年３月期 230,146百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	60.00	―	100.00	160.00
2027年３月期	―	105.00			
2027年３月期(予想)			―	65.00	170.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
２．2026年３月期の期末配当金及び2027年３月期の第２四半期末配当金には、創立80周年記念配当40円をそれぞれ含んでいます。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	△8.6	2,500	―	4,400	―	10,000	△27.4	246.18

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有
２．2026年２月27日開催の取締役会において、グループ従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入と自己株式の処分について決議しました。また、2026年５月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2027年３月期の業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分及び取得の影響を考慮しています。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	46,541,985株	2026年3月期	46,541,985株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	4,803,646株	2026年3月期	5,089,961株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	41,568,533株	2026年3月期中間期	41,672,420株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及びその他に関する事項については、添付資料４ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせてＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイトに掲載しています。また、2026年11月６日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11
３．その他 …… 13
（１）販売実績 …… 13

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間においては、2018年度から９年連続となる薬価改定が2026年４月に行われました。市場拡大再算定について、類似品の薬価を引き下げる「共連れ」ルールが廃止されたものの、選定療養制度における先発品に対する患者負担割合の増加や長期収載品の薬価引き下げ圧力の強まりなど、薬剤費全体の伸びは依然として抑制傾向にあり、医薬品業界は引き続き厳しい経営環境のもとに推移しています。

また、情報サービス業界、建設・施設メンテナンス業界、物品販売業界においては、IT需要などには継続して堅調さが窺えるものの、市場金利の上昇、円安基調の継続及びエネルギーをはじめとする物価高騰などにより、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	増減率（%）
売上高（百万円）	45,831	45,503	△0.7
営業利益又は 営業損失(△)（百万円）	△6,837	1,694	―
経常利益又は 経常損失(△)（百万円）	△5,622	2,923	―
親会社株主に帰属する 中間純利益（百万円）	7,784	5,191	△33.3

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、37,401百万円（前年同期比2.5%減）となりました。2026年５月に安全性速報（ブルーレター）を発出した、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオスは、3,140百万円（前年同期比44.0%減）となりました。2026年３月に新発売した創製品である子宮筋腫治療薬イセルティに加え、過活動膀胱治療薬ベオーバ、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、持続性及び慢性免疫性血小板減少症治療薬タバリスが伸長し、さらに、コ・プロモーションフィーが拡大しましたが、輸出や技術料売上などの海外ライセンス収入が減少し、減収となりました。

情報サービス事業の売上高は、受注増により6,517百万円（前年同期比27.7%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は、工事案件の延期などにより1,067百万円（前年同期比42.9%減）、物品販売事業の売上高は517百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

・利益の状況

売上原価率は、タブネオスや技術料売上の減少などに伴う売上構成の変化により上昇しました。一方、前年度に計上した技術導入に係る研究開発費の反動減などにより、営業利益、経常利益は黒字転換しました。親会社株主に帰属する中間純利益については、タブネオスの製造販売承認取消しを含む行政手続きが進められていることに鑑み、棚卸資産及び長期前払費用などのタブネオスに関する資産について特別損失を計上したことにより減益となりました。

・研究開発の状況

CGオンコロジー社（米国）から導入したCretostimogene grenadenorepvec（一般名、開発番号：CG0070）について、中リスク筋層非浸潤性膀胱がんを適応症とする国内第Ⅱ相臨床試験を2026年９月から開始しました。

ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したオルタシデニブ（一般名）について、2026年５月に、再発又は難治性のIDH1遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病を適応症として国内で承認申請を行うとともに、オリエントユーロファーマ社（台湾）に台湾における開発権及び販売権を許諾しました。

海外導出品の研究開発状況としては、ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）について、2026年７月に、台湾におけるサブライセンス先である台田薬品股份有限公司（台湾）が承認申請を行っています。

・個別製品の状況

タブネオスについては、これまで、2026年５月15日から慎重な投与を要請する情報提供活動を開始し、2026年５月21日には、重篤な肝機能障害について日本の添付文書を改訂するとともに、これを医療従事者に伝達し注意喚起を行う安全性速報（ブルーレター）を発出しました。さらに、当社は厚生労働大臣から、欧米で問題とされている国際共同第Ⅲ相臨床試験データの信頼性及び本剤の安全性に関する事実確認と、その報告を求める報告命令を受領し、これに回答しています。 2026年10月21日の薬事審議会医薬品第二部会では、報告命令に基づき当社が提出した

回答書の厚生労働省での確認結果が報告され、承認審査時の提出資料の信頼性に問題があり得ること、本剤による治療上の有益性がリスクを上回ると判断することが困難であることが確認されるとともに、本剤の対象疾患は重篤な希少疾病であり、投与中の患者における治療変更は、病状や他の治療選択肢を踏まえて個別に判断する必要があるとされました。これを受けて、厚生労働省は、当面の間、本剤の投与に関する対応(注)を医療機関等に要請することとし、同日付で通知を発出しました。当社は、本通知の内容を踏まえた医薬情報提供活動を開始しています。

（注）本剤の投与に関する対応の詳細については、2026年10月22日付当社ニュースリリースをご確認ください。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は266,852百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,234百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金などが増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産、有価証券などが減少したことなどにより、4,021百万円減少し110,948百万円となりました。固定資産は、投資有価証券や投資その他の資産の「その他」に含まれる長期前払費用の減少などにより、4,213百万円減少し155,904百万円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は37,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,263百万円減少しました。流動負債は、契約負債などが増加しましたが、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことなどにより、3,623百万円減少し18,064百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより2,639百万円減少し、19,222百万円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は229,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,971百万円減少しました。利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金などが減少したほか、自己株式の取得及び譲渡制限付株式としての処分を行いました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.7%から85.5%となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より425百万円減少し、当中間連結会計期間末では53,545百万円（前連結会計年度末比0.8%減）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少などの資金増加要因があった一方で、法人税等の支払額の増加や仕入債務の減少などの資金減少要因により、前年同期に比べ7,459百万円減の527百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券を売却した一方で、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ8,792百万円減の3,990百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、配当金支払額が増加した一方で、自己株式の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ2,731百万円支出減の4,931百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界においては、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、当社を含むグループ各社においても、円安や物価高騰に加え金利上昇の影響などにより、先行き不透明な業界環境が継続するものと予想されます。

現時点での2027年３月期の連結業績見通しは、以下のとおりです。

	2026年３月期	2027年３月期	2027年３月期見通し	対2026年３月期	
	実績	当初見通し（2026年７月）	（対当初見通し増減額）	増減額	増減率(%)
売上高（百万円）	97,406	88,700	89,000 (300)	△8,406	△8.6
営業利益又は営業損失(△)（百万円）	△2,927	2,000	2,500 (500)	5,427	―
経常利益又は経常損失(△)（百万円）	△1,162	4,000	4,400 (400)	5,562	―
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	13,779	13,300	10,000 (△3,300)	△3,779	△27.4

・売上高

当初見通しより300百万円増額の89,000百万円（前年度比8.6%減）に修正します。

中間連結会計期間の業績及び現況を踏まえ、医薬品事業においては、タブネオスに関する見通しを再精査し1,500百万円の減額、その他の事業では、主として情報サービス事業における受注増を見込み1,800百万円増額します。

・利益

医薬品事業における販売費及び一般管理費は、研究開発費は計画を維持した上で、中間期にタブネオスに関する長期前払費用を特別損失に計上したことに伴う減価償却費の減少のほか、経費配分を見直し、当初見通しからの減少を見込みます。情報サービス事業においては、売上高の増加による売上総利益の増加を見込みます。これにより、営業利益は当初見通しより500百万円増額し2,500百万円（前年度比－%）、経常利益は当初見通しより400百万円増額し4,400百万円（前年度比－%）とします。親会社株主に帰属する当期純利益は、中間期における特別損失計上の影響により、当初見通しより3,300百万円減額し10,000百万円（前年度比27.4%減）に修正します。なお、特別損益においては、年度後半の投資有価証券売却益として6,000百万円を見込み、通期では当初見通しどおり14,000百万円を計画します。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,057	29,685
受取手形、売掛金及び契約資産	31,583	29,531
有価証券	25,367	24,008
商品及び製品	12,463	11,141
仕掛品	790	770
原材料及び貯蔵品	12,268	11,966
その他	3,437	3,844
流動資産合計	114,969	110,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,745	41,810
減価償却累計額	△30,703	△30,985
建物及び構築物（純額）	11,042	10,824
土地	10,695	10,670
建設仮勘定	543	1,378
その他	20,569	21,211
減価償却累計額	△14,758	△15,261
その他（純額）	5,811	5,950
有形固定資産合計	28,093	28,823
無形固定資産	1,969	1,966
投資その他の資産		
投資有価証券	104,271	100,555
退職給付に係る資産	13,287	13,757
繰延税金資産	538	403
その他	11,976	10,415
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	130,055	125,113
固定資産合計	160,117	155,904
資産合計	275,086	266,852

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,661	5,293
短期借入金	1,250	1,250
未払法人税等	5,006	2,060
賞与引当金	2,298	1,885
その他の引当金	129	146
契約負債	846	1,466
その他	5,494	5,961
流動負債合計	21,688	18,064
固定負債		
繰延税金負債	21,029	18,432
役員退職慰労引当金	220	206
資産除去債務	130	130
その他	482	453
固定負債合計	21,862	19,222
負債合計	43,550	37,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,243	25,043
利益剰余金	136,253	137,299
自己株式	△15,513	△14,815
株主資本合計	169,339	171,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,076	49,914
退職給付に係る調整累計額	6,730	6,305
その他の包括利益累計額合計	60,806	56,220
非支配株主持分	1,390	1,459
純資産合計	231,536	229,564
負債純資産合計	275,086	266,852

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	45,831	45,503
売上原価	23,143	23,793
売上総利益	22,688	21,710
販売費及び一般管理費	29,525	20,015
営業利益又は営業損失（△）	△6,837	1,694
営業外収益		
受取利息	62	110
受取配当金	842	812
有価証券売却益	―	336
有価証券評価益	399	110
その他	96	75
営業外収益合計	1,400	1,445
営業外費用		
支払利息	13	19
為替差損	94	53
支払手数料	72	139
その他	4	3
営業外費用合計	184	216
経常利益又は経常損失（△）	△5,622	2,923
特別利益		
固定資産売却益	0	18
投資有価証券売却益	14,828	8,040
移転補償金	371	―
特別利益合計	15,199	8,058
特別損失		
固定資産売却損	―	0
固定資産処分損	109	6
投資有価証券売却損	56	19
減損損失	―	2,162
棚卸資産評価損	―	2,125
特別損失合計	166	4,313
税金等調整前中間純利益	9,410	6,668
法人税、住民税及び事業税	4,804	1,858
法人税等調整額	△3,271	△450
法人税等合計	1,532	1,408
中間純利益	7,878	5,260
非支配株主に帰属する中間純利益	93	69
親会社株主に帰属する中間純利益	7,784	5,191

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	7,878	5,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,348	△4,151
退職給付に係る調整額	△225	△433
その他の包括利益合計	2,123	△4,585
中間包括利益	10,001	675
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	9,877	605
非支配株主に係る中間包括利益	123	69

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,410	6,668
減価償却費	2,254	2,375
減損損失	－	2,162
棚卸資産評価損	－	2,125
移転補償金	△371	－
引当金の増減額（△は減少）	△321	△410
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△679	△1,101
受取利息及び受取配当金	△904	△922
支払利息	13	19
有価証券売却損益（△は益）	－	△336
有価証券評価損益（△は益）	△399	△110
固定資産売却損益（△は益）	△0	△18
固定資産処分損	109	6
投資有価証券売却損益（△は益）	△14,771	△8,020
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,310	2,052
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,261	△481
その他の流動資産の増減額（△は増加）	542	139
仕入債務の増減額（△は減少）	3,154	△1,367
契約負債の増減額(△は減少)	△227	619
その他の流動負債の増減額（△は減少）	10,562	1,394
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△58	△55
その他	△6	11
小計	8,357	4,749
利息及び配当金の受取額	874	899
利息の支払額	△13	△19
移転補償金の受取額	371	－
法人税等の支払額	△1,601	△5,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,987	527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△65	△67
定期預金の払戻による収入	29	24
特定金銭信託の払戻による収入	58	530
有形固定資産の取得による支出	△2,897	△2,487
有形固定資産の売却による収入	－	64
無形固定資産の取得による支出	△438	△363
投資有価証券の取得による支出	△982	△2,745
投資有価証券の売却及び償還による収入	17,254	9,011
貸付けによる支出	△1	－
貸付金の回収による収入	1	1
長期前払費用の取得による支出	△3	△4
その他	△172	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,782	3,990

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	170	170
短期借入金の返済による支出	△180	△170
リース債務の返済による支出	△82	△55
配当金の支払額	△2,354	△4,145
自己株式の取得による支出	△5,216	△730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,663	△4,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△12
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	13,114	△425
現金及び現金同等物の期首残高	48,158	53,971
現金及び現金同等物の中間期末残高	61,273	53,545

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式181,900株を730百万円で取得しました。また、当社は、2026年２月27日開催の取締役会決議に基づき、グループ従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして自己株式449,050株を1,368百万円で処分、2026年６月23日開催の取締役会決議に基づき、社内取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式として自己株式19,794株を60百万円で処分しました。

これらの結果等により、当中間連結会計期間末において、利益剰余金が137,299百万円、自己株式が14,815百万円となりました。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	32,766	－	－	－	32,766
輸出・海外ライセンス	3,775	－	－	－	3,775
ヘルスケア食品	1,806	－	－	－	1,806
情報サービス事業	－	6,491	－	－	6,491
建設・施設メンテナンス事業	－	－	3,510	－	3,510
物品販売事業	－	－	－	668	668
顧客との契約から生じる収益	38,347	6,491	3,510	668	49,019
外部顧客への売上高	38,347	5,102	1,868	512	45,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,389	1,641	156	3,187
計	38,347	6,491	3,510	668	49,019
セグメント利益又は損失（△）	△7,501	407	277	106	△6,710

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△6,710
セグメント間取引消去	44
固定資産の調整額	△195
その他の調整額	24
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△6,837

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	32,899	－	－	－	32,899
輸出・海外ライセンス	2,764	－	－	－	2,764
ヘルスケア食品	1,737	－	－	－	1,737
情報サービス事業	－	7,943	－	－	7,943
建設・施設メンテナンス事業	－	－	2,848	－	2,848
物品販売事業	－	－	－	598	598
顧客との契約から生じる収益	37,401	7,943	2,848	598	48,791
外部顧客への売上高	37,401	6,517	1,067	517	45,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,426	1,781	80	3,288
計	37,401	7,943	2,848	598	48,791
セグメント利益	876	549	220	33	1,680

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,680
セグメント間取引消去	56
固定資産の調整額	△27
その他の調整額	△14
中間連結損益計算書の営業利益	1,694

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「医薬品事業」セグメントにおいて、タブネオスの製造販売承認取消しを含む行政手続きが進められていることを前提とした会計上の見積りを行い、長期前払費用につき減損損失を計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は2,162百万円です。

３．その他

（１）販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
医薬品事業	38,347	83.7	37,401	82.2	△946	△2.5
泌尿器科用薬剤	10,614	23.2	11,794	25.9	1,180	11.1
腎・透析科用薬剤	8,570	18.7	9,586	21.1	1,015	11.9
希少疾病用薬剤	7,312	16.0	5,514	12.1	△1,798	△24.6
代謝内分泌科用薬剤	1,927	4.2	1,616	3.6	△310	△16.1
産婦人科用薬剤	268	0.6	493	1.1	225	83.8
眼科用薬剤	89	0.2	67	0.1	△22	△25.1
その他の薬剤	1,645	3.6	1,363	3.0	△282	△17.2
その他 (注)１	2,337	5.1	2,463	5.4	126	5.4
輸出・海外ライセンス (注)２	3,775	8.2	2,764	6.1	△1,010	△26.8
ヘルスケア食品	1,806	3.9	1,737	3.8	△69	△3.8
情報サービス事業	5,102	11.1	6,517	14.3	1,414	27.7
建設・施設メンテナンス事業	1,868	4.1	1,067	2.3	△801	△42.9
物品販売事業	512	1.1	517	1.1	5	1.0
合計	45,831	100.0	45,503	100.0	△328	△0.7
（うち輸出高）	(3,786)	(8.3)	(2,775)	(6.1)	(△1,011)	(△26.7)

（注）１．国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

２．ライセンスアウトに係る契約金、マイルストン収入、ランニングロイヤルティ及び医薬品輸出の合計額

３．セグメント間取引については、相殺消去しています。